

令和 5 年度		3 学年		商業 科	
教科名	商業	科目名	経済活動と法		3 単位
			担当者		
<b>1. 学習目標</b>					
ビジネスに必要な法律に関する基礎的・基本的な知識を習得させ、経済社会における法の意義や役割について理解させるとともに、経済事象を法律的に考え、判断する能力と態度を育てる。					
<b>2. 使用教材等</b>					
・教科書名 経済活動と法（実教出版）					
・副教材名 経済活動と法 問題集（実教出版） 全商商業経済検定問題集 1・2 級 経済活動と法（実教出版）					
<b>3. 学習項目（学習内容）</b>					
学期	月	単元	学 習 内 容	時間数	考査
1	4	経済社会と法	変化発展する経済社会と法	19	中間考査
	5	権利・義務とその主体	権利・義務とその主体		
	6	物と財産権	物と財産権	14	期末考査
	7	知的財産権	知的財産権		
2	8	財産権と契約 そしてその保護	財産権と契約 物の売買 物の貸借	24	中間考査
	9				
	10	企業活動に関する法	契約によらない財産権の変動 財産権の保護	25	期末考査
	11				
12					
3	1	企業の責任と法	法令遵守 消費者と法 労働と法 紛争の予防と解決	23	期末考査
	2				
	3				
<b>4. 評価の観点</b>				105	
①関心・意欲・態度		ビジネスの諸活動に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。			
②思考・判断・表現		ビジネスの諸活動に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。			
③技能		商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。			
④知識・理解		商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの意義や役割を理解している。			
<b>5. 評価の方法</b>					
・定期考査： 中間考査、期末考査により基礎的内容の定着度を評価する。					
・課 題： 商業経済検定の結果と取組態度で評価する。					
・授業態度： 日頃の授業への取組状況、出席状況で評価する。					
<b>6. 学習にあたっての注意とアドバイス</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが暮らす社会と法の関係について学んでいく。</li> <li>・日ごろから社会のニュースや出来事について意識を向ける。</li> <li>・2月に実施される「商業経済検定 経済活動と法」合格を目指し、一年間がんばりましょう。</li> </ul>					